

## 第4章 小城市がめざす協働の姿

協働を進めるために

市民一人ひとりが何か  
地域のことにかかわっている



市民一人ひとりが必要とされているまち

市には、公平性、平等性のほかに財政的制約も課され、市民一人ひとりの課題全てに対応することが困難です。

それに対し、CSOなどの活動は、個人や地域の諸課題に対し柔軟に、臨機応変に対応することが可能です。

そういう身軽に動ける力が小城市内のあちこちがあれば、小城市が地域力をつけていくというイメージです。

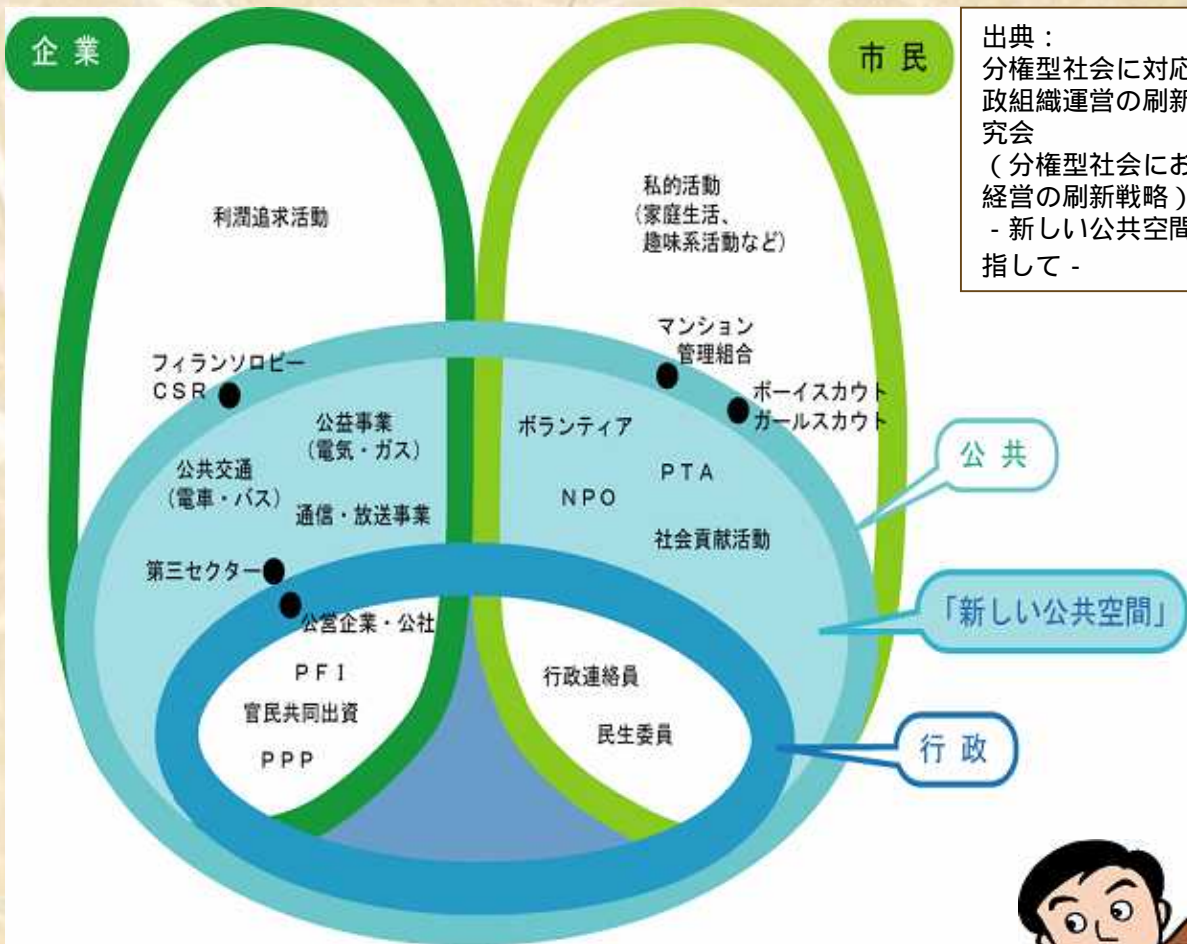
それが、新しい公共空間です。

市民であるあなたが、市民活動団体に参加してサービスを提供する側になれるのです。

市民の少しずつの取組みで地域やまちは変わっていきます。

あなたにあう協働のスタイルで取組みをはじめてみましょう。

# 新しい公共空間の形成



出典：  
分権型社会に対応した地方行政組織運営の刷新に関する研究会  
(分権型社会における自治体経営の刷新戦略)  
- 新しい公共空間の形成を目指して -



## この図で使われている言葉の意味

**フィランソロピー**とは・・・チャリティーに近く、特定の事業のために、長い年月をかけて労力や資金を支援するようなこと

**CSR**とは・・・企業の社会的責任(地域貢献)

**第三セクター**とは・・・国や地方公共団体(第一セクター)と民間事業者(第二セクター)との共同出資で設立された法人のこと

**PFI**とは・・・(Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) 公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行なう手法

**PPP**とは・・・(Public Private Partnerships: パブリック・プライベート・パートナーシップ) 行政が提供している公共サービスを民間に開放することで、コストの低減や質の向上、サービス提供形態の革新を実現しようとする取り組み

**ボーイ(ガール)スカウト**とは・・・該当年齢の少年・少女を対象とする活動であり、班及び隊の活動に参加することによって自分の責務を果たし、野外活動を主とした体験学習を通してよき社会人たる資質の向上を図るもの



## あなたにあう協働のスタイルを考える。

これからは、地域の課題を解決する手段として、「市民協働」の取組みは必要です。市民一人ひとり自らが、「協働」の視点を持ち地域の課題に対して気づいて行動を起こし、解決に向け取組んでいくことが、今後の小城市づくりに欠かせません。

では、どのような事業から「協働」を考えていくのか、つなげていくのか具体例から考えていきましょう。

実は、皆さんがすでにやっていることだということが見えてきます。

市も協働の考え方を常に持ち、市内で実施されている活動を市民活動団体とともに協働していく必要があります。

<b>市以外で取組んだ方がニーズに合うと思われる事業</b>	
考え方	市が行う事業は、どうしても公平性・平等性が確保される必要があります。より実態に合う形での事業実施が必要です。それぞれの専門性を活かした柔軟な対応が期待できます。
例えば・・	健康づくり、地域防犯、防災、通学路の安心・安全など
<b>みんなで取組んだ方が、より充実した内容となる事業</b>	
考え方	まちづくりは、市民皆さんの参加があって初めて多彩な取組みと独自性を発揮できるもので、参加のきっかけとなる「場」づくりとなり、多くの方の参加が期待できます。
例えば・・	地域の祭り、伝統行事、河川清掃など
<b>市や企業がこれまで取組んだことがない事業</b>	
考え方	市民活動団体が市や企業に先がけて実施し、社会に貢献している事業があります。それらのノウハウを互いに発信し、分かち合うことでより充実した事業が期待できます。
例えば・・	介護保険事業など

## 市民・CSO・市の姿勢と役割

情報の  
共有化？

環境の  
整備？

人材の  
育成？

一緒に  
考える機会  
の拡大？

相互の  
意識改革？



協働が地域の諸課題を解決する手段という  
ことを理解し……

### < 市民がすべきことは？ >

- 情報面** ➡ 市やCSOの情報を知る。(市政に関心を持ちます。)  
情報を発信する。(市民の想いや活動を知ってもらい、呼びかける)  
パブリックコメント、アンケート、公募委員など  
積極的に関わりを持ち参加する。
- 人材面** ➡ 同じ想いを持つ仲間を増やす。  
市や他人にまかせっきりにしないで責任を持ち行  
動する。
- 資金面** ➡ 自分達で課題解決に向け、取り組む事に努める。

### < CSOがすべきことは？ >

- 情報面** ➡ 地域情報を集め、行政に伝える。  
活動を理解されるよう、情報を発信する。
- 人材面** ➡ 自らもサービスの提供者になれるという意識を持  
ち組織力を向上させる。
- 資金面** ➡ 自助努力により、独立した経営と管理を行う。

パブリックコメントとは……行政機関が政策の立案などを行おうとする際にその案を公表し、この案に対して広く市民・事業者等から意見や情報を提出していただく機会を設け、行政機関は、提出された意見等を考慮して最終的な意思決定を行うもの。



市は、次のような現状認識を切り換える。

市自らが行った方が、市民より良いサービスの提供ができると考えている。

市民と話し合う場をもとうとしていない。

(市民や現場の意見を大切にしていない。)




市民に役に立つ人 = 市職員という認識が薄い。

縦割り意識が強く、横断的に対応し、スムーズな連携と意思形成をすることができていない。

市民に対して、必要な情報をきちんと出していると思っている。



### <市がすべきことは？>

- 情報面**  市民の意見をよく聞く。  
行政情報を分かりやすく公開する。(透明性)  
市民活動に関心を持ち、広く紹介する。  
各課の繋がりを密にする。  
(連携・協力意識を高める。)  
市民と一緒に考える(話し合う)機会をもつ。
- 人材面**  人材発掘と育成に力を入れる。
- 資金面**  資材及び場所の円滑な利用と提供を行う。  
(話し合いの場を提供する。)

### 期待される姿勢として…

市民を信頼し任せ、常に市民起点の考えをもち、  
市民との協働を意識するようになる。

# 「5EYE(ファイブ'あい)運動」の展開

協働をすすめるために5 E Y E運動を展開します。

笑顔であいさつ  
を交わし  
(あい)  
EYEましょう。

課題と成果を  
見つめ  
(あい)  
EYEましょう。

「和で織りなす  
美しい小城市」を  
愛しましょう！

互いに認め  
(あい)  
EYEましょう。

みんなで一緒に  
助け  
(あい)  
EYEましょう。

みんなで一緒に  
に広め  
(あい)  
EYEましょう。



協働とは、お互いの信頼（納得と共感）の上に  
成り立つものです。

全ての市民が5EYE(ファイブ'あい)運動を展開することにより  
総合計画の基本目標である  
「和で織りなす美しい小城市」づくりを進めます。



## 協働に向け、みんなで一歩ずつ進みましょう！

市民は、地域の課題やその課題解決について考えられることや、それらに関して取り組んでいる内容（情報）をみんなで共有し、広く理解されるよう伝えることが大切です。

### 【地域内での取り組み】

伝えるためには、市民同士隣近所で話し合い（井戸端会議など）を行い、「みんなでやる」という連帯感とお互いさまの意識を持ち、共通の認識を深めていく機会を増やしていく必要があります。

そのことにより、個々の考えと理解が進み、目的を達成するための組織化や、それぞれの活動が地域の力として結集することとなります。

### 【地域外への発信】

その課題は、取り組んでいる地域のみ該当することでしょうか？市内その他地域でも必要とされていることではないでしょうか？その取り組みを広く市民に伝える必要があります。



市に伝えること（提案すること）、そして市民への伝達手段としてインターネット等を活用し、周知を図ることができます。また、CSOが集い、地域の課題解決に取り組めるCSOの活動拠点としてCSO市民活動センター「ようこそ」が整備されました。「ようこそ」を活用することで、いろいろな市民活動の団体の情報交換、情報発信ができ、ネットワーク化を促すことができます。

「ようこそ！」

情報は、  
自ら進んで出向いてつかみましょう。  
自らの活動を話し合いの場へ  
出向き伝えましょう。

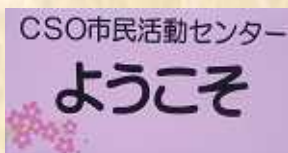


「ようこそ」は、地域の窓口である公民館内にあり、地域に根ざした老人会や婦人会といった地縁組織や社会教育団体などの情報共有が可能であり、地域の諸課題解決に向け、連携した新たな取組みに貢献することが期待されます。

地域のたくさんの地縁組織同士が交流する場としての公民館も、「ようこそ」とこれからの時代に合った新たな視点を取り入れ、活動を広げる必要があります。

「ようこそ」を活用することで、団体同士又、市と団体との新たな出会いが始まります。

出会い 交流 活動の場として、お互いに協働について共通理解を進め、協働事業への第一歩を踏み出して行くこととなります。



拠点（西側より）



小城公民館全景

### CSO市民活動センター「ようこそ」

所在地：小城市小城町176番地2 小城市小城公民館内

連絡先：TEL・FAX 0952-72-3566

E-mail：youkoso@ec6.technowave.ne.jp

平成20年度佐賀県CSO活動拠点整備事業の補助で整備されたCSOの活動拠点です。

CSO同士が交流し、お互いの活動情報を得るとともに、活動に関する相談を受けることや、自らの情報を発信できるすべてのCSOが気軽に利用できる情報発信基地的役割を持つものです。